

中部地区モデル 「QRコード付複写式紙伝票」

株式会社 古川電機製作所
荒木 雅広

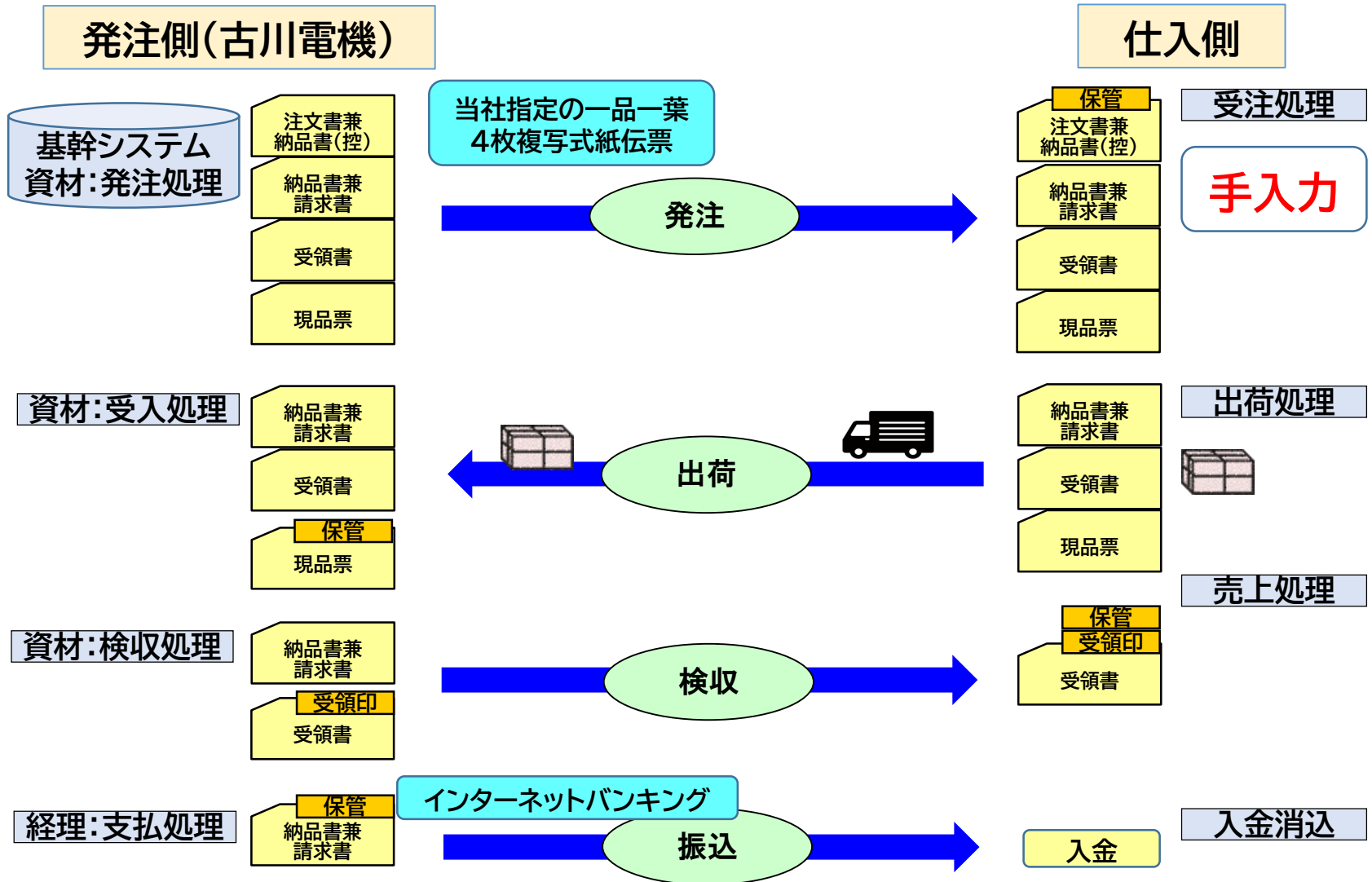


株式
会社

古川電機製作所

- 創業 1933年(昭和8年) 3月
- 資本金 一億円
- 電力設備機器製造
- 事業所 本社営業所
名古屋市千種区今池
春日井工場
春日井市松河戸町
岐阜工場
海津市南濃町山崎
- 社員数 158名(2021年3月現在)
(男115名 女43名)

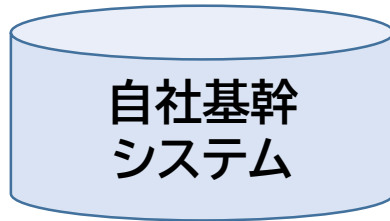
現在の発注～支払フロー



これからの2つのモデル

- **QRコード付の紙伝票(注文書)による発注
協力企業2社(加工・組立)**
基幹システムのカスタマイズが先日完了して検証の段階です。運用はこれからです。
- **EDI(ZEDI含む)による発注
ねじ仕入先1社**
グローバルワイズさんと進行中です。
こちらのモデルはこのあと、廣瀬様からご説明があります。

QRコードの内容



注文書兼納品書(控)

納品コード	品名	納品数量	納品単位	納品日	納品場所
00000517	事務用紙	211960093		2021/11/17	
3P0420A	C1100-1 分枝圧縮端子				
納品	品名	数量	単位	金額	消費税
		35	箱	4610	¥21,350
2021/11/20	0P0420A				0096
09-00701-001	春日井工場 産管 産				0096
金額	クリップ式				従来通り

株式会社 古川電機製作所
〒100-0001 東京都千代田区千代田 3-1-2
TEL: 03-5561-7000 FAX: 03-5561-7001
E-MAIL: info@fukagawa.co.jp

QRコードの内容
企業情報、品名、数量、金額、
消費税額、消費税額等
岸田先生仕様インボイス制度
対応の20項目程の情報

QRコードのサイズは少し大きめの28mmで、
読取が安定。(コピー用紙では小さいサイズで
も読取ができる)
複写式伝票の用紙のため滲んで印刷されて
いるのが原因と思われる。

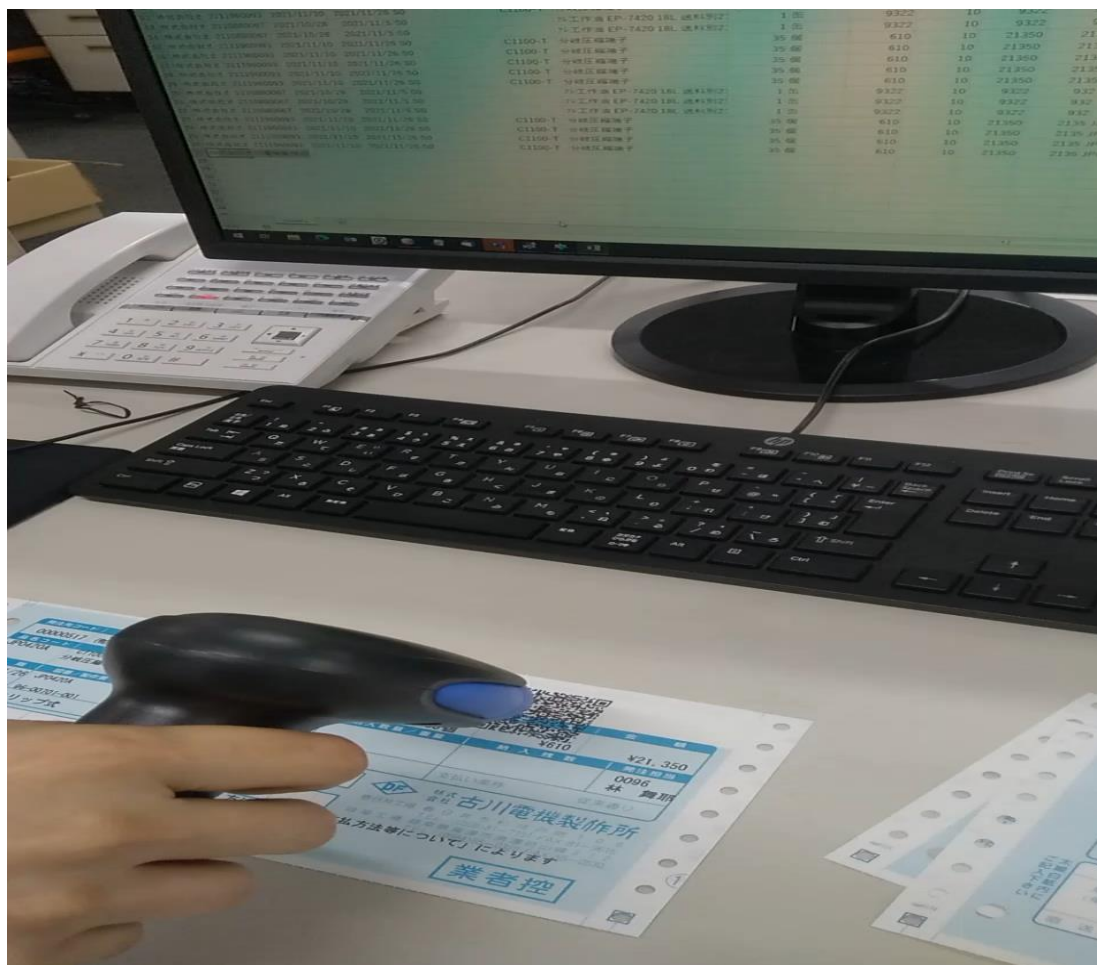
QRコードの読取～エクセル出力



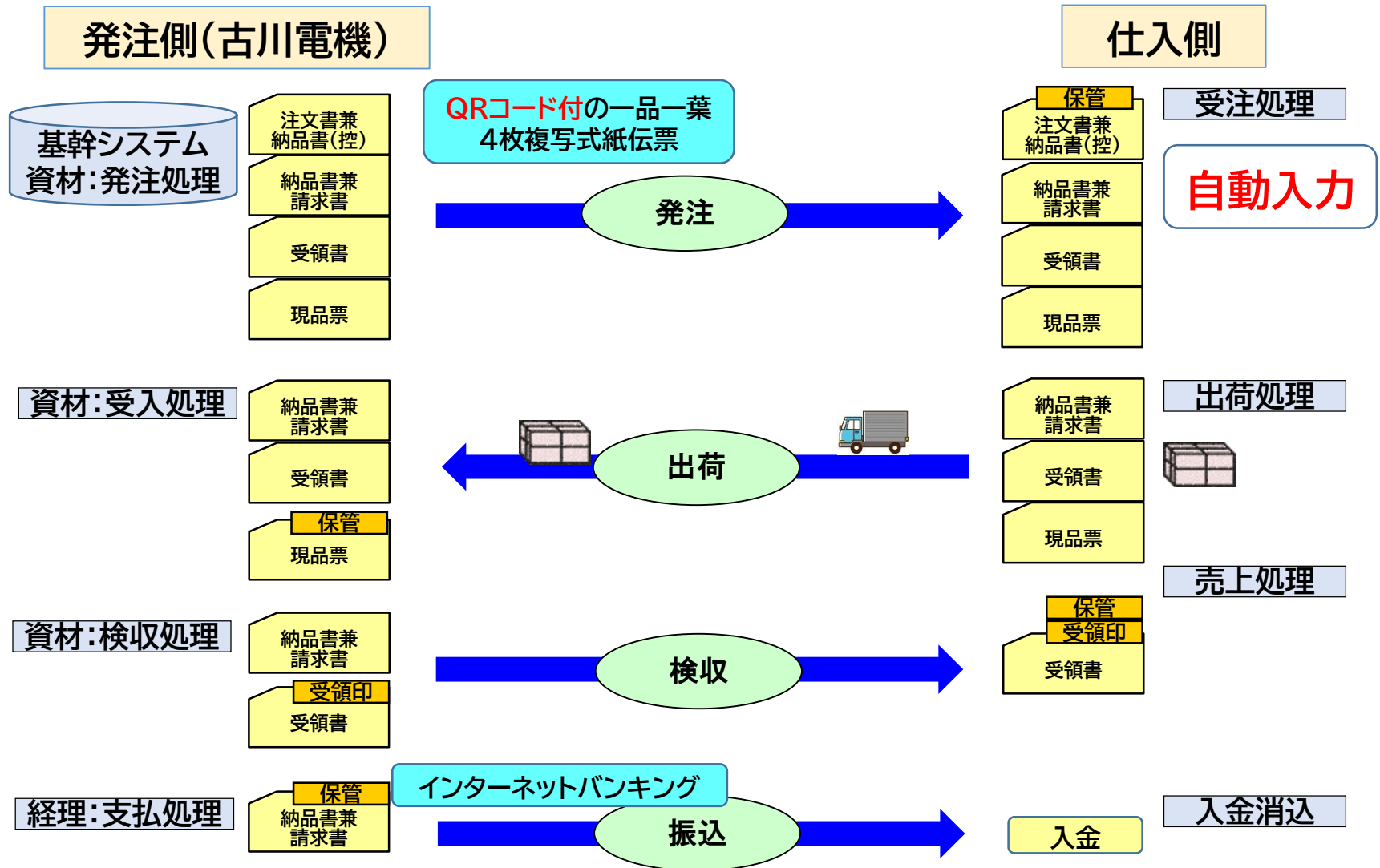
市販の「USBケーブルで直接PC接続できるリーダー」を使用しました。(5千円前後)
 読み取ったデータをリアルタイムで、エクセルに行単位で貼付けができました。
 自動改行されるので、次々に読取、貼付けを連続しての処理が可能でした。

自社社名	発注番号	発注日	納期	課税区分	メーカー	材質	品名	形式寸法	表面処理	数量	単位	単価	税率	金額	消費税額	図番	製番
株式会社古川電機製	2110880067	2021/10/28	2021/11/5	S0			ﾌﾞﾚｽ工作油 ■■■ 18L 送料別2110880069			1	缶	9322	10	9,322	932		
株式会社古川電機製	2111960093	2021/11/10	2021/11/26	S0		C1100-T	分岐圧縮端子			35	個	610	10	21,350	2,135	JP04296-00	
株式会社古川電機製	2110880067	2021/10/28	2021/11/5	S0			ﾌﾞﾚｽ工作油 ■■■ 18L 送料別2110880069			1	缶	9322	10	9,322	932		
株式会社古川電機製	2111960093	2021/11/10	2021/11/26	S0		C1100-T	分岐圧縮端子			35	個	610	10	21,350	2,135	JP04296-00	
株式会社古川電機製	2111960093	2021/11/10	2021/11/26	S0		C1100-T	分岐圧縮端子			35	個	610	10	21,350	2,135	JP04296-00	

QRコードの読取～エクセル出力 (実際の処理の映像)



今後の発注～支払フロー



QRコード付伝票による効果

発注側(古川電機)

自社基幹システム



注文書兼納品書(控)

00000517	圖書器製機	2111990093	2021/11/10
QRコード	01100-1		
品名	分岐圧縮端子	35箱	¥670
数量			¥21,360
2021/11/20	#P0420A		
99-00701-001	春日井工場	産物部	0996
金額	クリップ式		

古川電機製作所



QRコードリーダーで
読取、Excel出力

仕入側

受注～売上計上～請求

全て**手入力**
非常に手間と時間がかかる作業



リーダーとパソコン(Excel)
さえあれば、
ほぼ**自動入力**

大幅な事務作業時間の削減！

運用へ向けて

【現行の複写式紙伝票の課題】

当面は変更無で運用は可能です。

2023年10月インボイス制度の実施後は、
適格請求書に対応するため、印字項目、
レイアウトの変更が必要になります。

あるいは請求書機能を無くして、仕入先製の
請求書に変更することになります。

以上で終わります
ありがとうございました